

科目名	問題発見の技法
担当者名	佐藤 文昭

### 【科目の目的】

今日、私たちが直面している地域社会の問題は、複雑化・複合化し、目に見えている出来事も、実は様々な要素が複雑に絡み合って生じている。本科目では、こうした出来事が「なぜ」、「どのような」に起こっているのかを、データやディスカッションを通じて一つ一つ解き明かしていくことにより、根本にある問題点はなにかを見つけるための技法を指導する。それにより、今後、様々な分野における学修の基盤となる「問いを立てる力」を身に付けることを目的とする。

【学士基盤力】実践力・問題解決力、自己学修力

### 【到達目標】

(知識・理解)

目に見えている出来事を掘り下げていくための技法について理解することができる。

(思考・判断・表現／思考・技能・実践)

理解した技法を用いて、目に見えている出来事の根本にある問題を把握することができる。

(態度・志向性)

興味関心を持ち積極的に課題に取り組むことができる。

### 【授業内容】

第1回(4/14)出来事を感じ取る

各自が関心を持つ地域の出来事について、対話を通じて問題意識を明確にする。

第2回(4/21)情報を集める

様々な情報源からテーマに関連するデータを収集する。

第3回(4/28)情報を読み解く

収集したデータを分析することにより、テーマを取り巻く問題を把握する。

第4回(5/12)声を聴く

各テーマに関係する人へのインタビューを行うことにより、問題について理解を深める。

第5回(5/19)関係づける

収集したデータやインタビューを総合し、テーマを取り巻く問題の関係性を把握する。

第6回(5/26)発表する

これまでの検討結果を踏まえて、各自が関心を持った出来事の問題点について発表する。

### 【授業外の学修】

課外活動を通じて、企画立案に必要となるデータ収集やヒアリング等を行うこと。

### 【教育方法】

<アクティブラーニングを取り入れた教育方法>

講義内容を踏まえたワークショップ形式で行う。

ノートパソコンまたはタブレット端末を使用するので、各自用意すること。

### 【実務経験のある教員による教育方法】

大手及び県内シンクタンクにおいて、国及び自治体の政策立案に係る調査研究業務に携わってきた実績を持つ担当教員が、本科目の全体コーディネートを行う。また、各回において以下の山梨総合研究所研究員をゲスト講師として迎えて実践的な指導を行う。

清水 洋介：山梨総合研究所 主任研究員、山梨県より出向。

廣瀬 友幸：山梨総合研究所 主任研究員、山梨市より出向。

**【評価方法】**

(知識・理解)

各回の発表 (40%)

(思考・技能・実践)

最終回の発表 (40%)

(態度・志向性)

各回の授業参加姿勢 (20%)

**【必携図書】**

なし。

**【参考図書】**

筧雄介『持続可能な地域のつくり方——未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン』英治出版

**【履修上の注意】**

本科目は、18:30～20:30の時間帯にやまなし地域づくり交流センターにて開講する。

**【履修者へのメッセージ】**

私たちが見えている出来事は、「氷山の一角」に過ぎません。  
その下にどんな行動パターンや構造、価値観などがあるのかを、一緒に掘り下げてみましょう。  
きっと、今までとは違った世界が見えてくるはずです。